

熊本市 南区地域包括ケアシステム推進会議

令和6年度 人生会議セミナー／第4回南区人生会議の日 アンケート結果

【主なご意見】

【南区 福祉課】

〔1〕 人生会議セミナー

開催日	参加者	回答者	回答率
(1) 令和6年 5 月19日 (日)	29名	22名	75.9%
(2) 令和6年 7 月23日 (火)	20名	19名	95.0%
(3) 令和6年 8 月 7日 (水)	18名	17名	94.4%
(4) 令和6年 10月26日 (土)	50名	34名	68.0%
(5) 令和7年 3 月 5 日 (水)	37名	30名	81.1%
小計	154名	122名	79.2%

〔2〕 南区人生会議の日

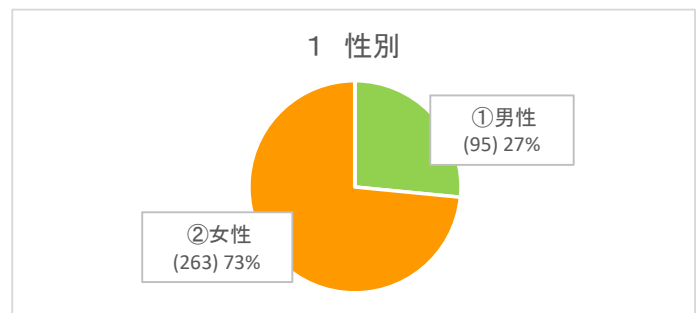
開催日	参加者	回答者	回答率
(6) 令和6年11月23日 (土)	256名	236名	92.2%

〔3〕 合 計

	410名	358名	87.3%
--	------	------	-------

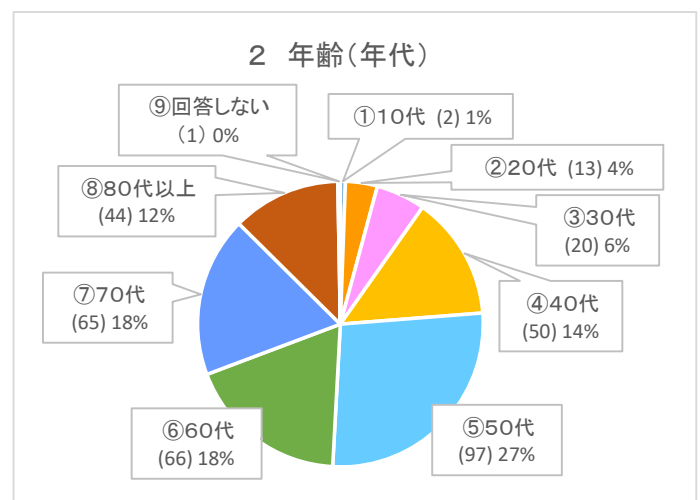
【問1】 あなたの性別をお答えください。

①男性	95	26.5%
②女性	263	73.5%
③回答しない	0	0.0%
④無回答	0	0.0%
計	358	100.0%



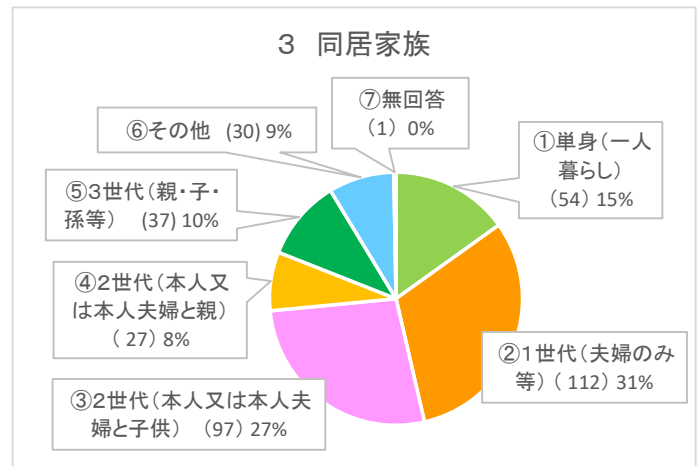
【問2】 あなたの年齢（年代）をお答えください。

①10代	2	0.6%
②20代	13	3.6%
③30代	20	5.6%
④40代	50	14.0%
⑤50代	97	27.1%
⑥60代	66	18.4%
⑦70代	65	18.2%
⑧80代以上	44	12.3%
⑨回答しない	1	0.3%
⑩無回答	0	0.0%
計	358	100.0%



【問3】あなたの同居家族についてお答えください。

①単身（一人暮らし）	54	15.1%
②1世代（夫婦のみ等）	112	31.3%
③2世代（本人又は本人夫婦と子供）	97	27.1%
④2世代（本人又は本人夫婦と親）	27	7.5%
⑤3世代（親・子・孫等）	37	10.3%
⑥その他	30	8.4%
⑦無回答	1	0.3%
計	358	100.0%

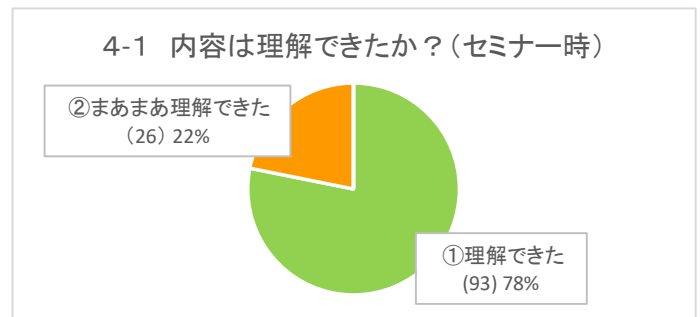


※問4は、「人生会議セミナー」と「第4回南区人生会議の日」で設問が異なります。

【人生会議セミナー】

【問4-1】本日の講演を聞いて、内容は理解できましたか？

①理解できた	93	76.2%
②まあまあ理解できた	26	21.3%
③あまり理解できなかった	0	0.0%
④理解できなかった	0	0.0%
⑤無回答	3	2.5%
計	122	100.0%



○問4で、「①理解できた」「②まあまあ理解できた」を選んだ理由は何ですか？

〔内容について〕

- ・実体験を踏まえての話でとても分かりやすかった。（5）
- ・人生会議（の重要性）を理解することができた。（4）
- ・今まであまり考えたことが無かったが、話し合って意志を確認しておくべきことを理解した。
- ・先生の豊富な体験のもと、最期を迎える時の希望を書くことの重要性が良くわかりました。
- ・延命について考えさせられてよかった。
- ・人生会議が、本人だけでなく家族にとっても大事だと分かったため。
- ・看取りの重要性、本人の思い、家族の思い、大切なことがたくさんあることを話し合うことが大切と感じました。
- ・実際に「私の想い手帳」を書いてみて実感がわいたから。
- ・その時のことを考えていなくてはと思った。
- ・死の実態に直面してどうしておけばいいか考えるようにしたいと思う。
- ・まわりにも対象は現在いませんが、私も81歳で近い将来おとずれることです。今日勉強できたことたいへん参考になりました。

〔家族等との関わりを通して〕

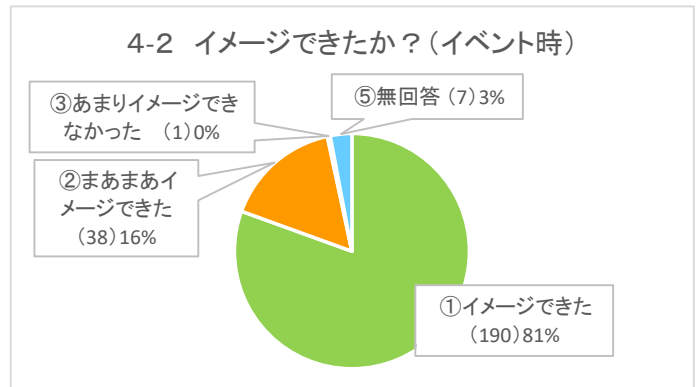
- ・父の看取りを経験し、自然のままがいかに大事かと（あゆみの大輔先生やスタッフ方に助けられ）分かりました。
- ・口から食べられなくなること、老いを受け入れ穏やかに最期を迎えることは残される家族にとっても大切なこと。
- ・人生の最期をどのように迎えるか、早いうちから考えてもいいのだと思った。言いにくい内容ではあるが、家族に伝えておくことが大切だと思った。
- ・本人と家族の最期に対しての思いや考えが違うから、話をしっかりしておくことの大切さが理解できた。
- ・人生会議とは何か。楽しい人生で前向きに適度に運動し一人暮らしですので、子供たちと話し合っていきたいと思う。
- ・高齢のため話し合っておく必要があると感じました。
- ・身近に実父が終末期に近い状態ですが、とても参考になりました。本人の気持ちを尊重したいと思います。

- ・母が入院したところで、自分ごととして考えた。
 - ・家族関係が良好ならば良いが、親に憎しみがあリ拒絶している場合、自分の親をどう看取るべきか非常に悩む。
- 〔その他〕
- ・これからの生き方を考えるようになった。
 - ・今のうちに考えておきたい、人に知らせたい。
 - ・82歳。他人事ではないと思いました。
 - ・明日は我が身。ありがたい講演でした。

〔第4回南区人生会議の日〕

〔問4-2〕本日のパネリストの発表を聞いて、「人生会議」についてイメージできましたか？

①イメージできた	190	155.7%
②まあまあイメージできた	38	31.1%
③あまりイメージできなかった	1	0.8%
④イメージできなかった	0	0.0%
⑤無回答	7	5.7%
計	236	193.4%



○問4で、「①イメージできた」「②まあまあイメージできた」を選んだ理由は何ですか？

〔内容について〕

- ・多くの事例を聞くことが出来たから。（3）
- ・実際の経験（ご家族の話）だったので。（3）
- ・それぞれの立場の方の具体的な話を聞くことができた（参考になった）。（3）
- ・イメージしやすかった。（3）
- ・パネリストの方の色々な立場からの話を聞いてイメージしやすかった。（3）
- ・分かりやすい説明、写真や資料を見ながら話を聞いた。（2）
- ・何回も聞いているので、少しずつ分かってイメージができてつある。（2）
- ・当事者の方のお話や施設の紹介動画など、具体的エピソードの説明によりイメージできました。
- ・言葉は知っていたが、抽象的なイメージしかもっていなかった。本日の話、内容は本当に重要で貴重な話でした。
- ・分かりやすくこれからに活かしたい。
- ・人生会議は必要だと教えていただきました。ありがとうございます。
- ・様々な段階で、患者さん、ご家族に接する方々の多視点のお話が聞けたため。
- ・内容が深いと感じました。看取りをしたDrの視点、急性期の視点、在宅の視点、事例の視点、身寄りがない古民家での視点。

〔自分のこととして〕

- ・とても役に立って、自分なりに考えました。
- ・自分の最期は自分で決めることは大事なことだと思いました。
- ・自分の生き方、逝き方は自分で決めること。最期までどう生きるか大事。
- ・人生会議をして、自分の考えを伝える、相手の考えを聞く、ということはとても大切だと感じました。

〔家族等との関わりを通して〕

- ・家族で話す必要性を感じた。
- ・「会議」という場を作ろうとせずとも、日常の関りの中で話せることがあるとイメージできた。
- ・かしこまって会議を開かなくても少しずつ話していくことの大切さ。
- ・自分は延命をしないことを伝えていて、遺された家族がそのまま伝えてくれると思っていたが、家族と希望が一致していないと伝えられないこともあると思ったから。
- ・私の親は、2人とも近くに住んでいますが、一度話し合ってみたいと思うようになった。
- ・主人が入院中なので勉強になりました。
- ・6月に祖母が亡くなった時のことを思い出し、少し後悔している部分があったため。

〔その他〕

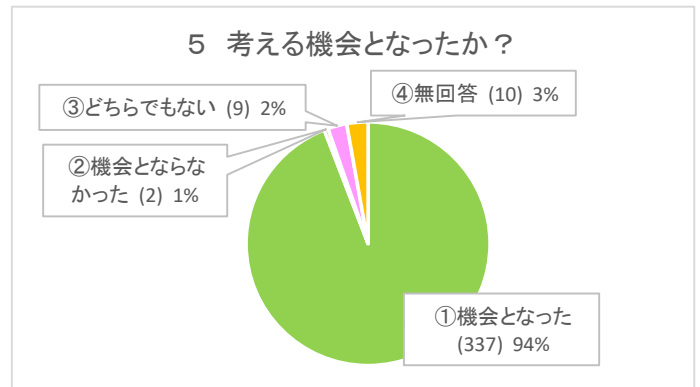
- ・人生会議など考えたこともありませんでした。ありがとうございました。
- ・ますますACPって必要だと感じた。
- ・一人暮らしの事例を聞きたい。
- ・今から考えていきたいと思います。

○問4で、「③あまりイメージできなかった」を選んだ理由は何ですか？

<回答なし>

【問5】本日のセミナーを聞いて、ご自身の「人生の最期の迎え方」について考える機会となりましたか？

①機会となった	337	94.1%
②機会とならなかった	2	0.6%
③どちらでもない	9	2.5%
④無回答	10	2.8%
計	358	100.0%



○問5で、「①機会となった」を選んだ理由は何ですか？

〔内容について〕

- ・とても勉強（参考）になりました。（4）
- ・勉強になったし、安心しました。
- ・在宅医療の実例、事例を聞いて理解が深まったと思います。
- ・今まであまり感じていなかったが、この機会に考えてみたい。
- ・人生の最期を漠然と考えていましたが、知識があるということは重要なことだと改めて考えさせられました。
- ・娘を2年前に亡くした時に、親子で色々話すことができ、先生のお話を聞いて医者への気持ちが良くわかりました。
- ・他の人の例を教えてもらい、具体的にどんなことを考えれば良いかわかったから。
- ・家族が家で看取れない可能性があるため包括センターなどに相談できると聞き、役に立ちました。
- ・考えることがなかったので、いい機会となりました。
- ・まだ先の話だ、みんな元気だとしっかりと考えたことがなく、突然こういうことが起きたらどうして良いかわからない。良い機会であった。
- ・以前より気になっていたものだったため、より必要なことだと思った。
- ・とても共感することができた。話のキッカケになった。
- ・人生会議を知らなかった。
- ・当事者の河野さんの話を聞くことができたから。

〔自分のこととして〕

- ・どう生きるかを考えられた（考えたい）。（4）
- ・自分の死について考えることはなかったので、良い機会となった。（2）
- ・自分の望む形（後悔しない過ごし方）で終わりたい。（2）
- ・自分の余生について深く考えさせられました。
- ・平穏な最期を迎えたいと思う。
- ・自分のことだから、自分で決めたいと思うようになった。
- ・人生会議の話や度々聞く機会があります。やはり自分の生き方、逝き方については、自分で決めたいと思う。人生を楽しむためにも。
- ・自分の最期を良かったと思える人生にしたいから。最後、河野さんのお話は、自身の母も同じ病気で身近なお話で、家に帰ってから考える機会となりました。
- ・林先生のお話を聞いて良く理解できました。私もそう望みたいと思います。
- ・様々な事例を聞かせていただき、人生の最期を本人が決める必要性があると思ったから。

- ・自分の意志を文書で残しておくことが大切と思いました。
- ・自分の想いは家族に知っていて欲しいと思う。
- ・本人の希望を家族と共有できること。
- ・メッセージノートは、書かなきゃなと思います。
- ・その時点（今日）での自分の考えを残しておきたいと思ったし、伝えておきたいと思えたから。
- ・予期せぬ事故や事件で死に至ることもあるので、元気なうちから自分の人生の最期の迎え方について考え、家族に伝えておきたいと思う。
- ・自分と両親にメッセージノート等をもらったので、活用しようと思った。
- ・頭がはっきりしている間に、娘たちに言うておかなければならない。
- ・誰しも自分の理想の死に方があると思う。それを尊重するためには、文字で残しておく必要がある。
- ・生まれる時は金持ちの家に生まれたいと思っててもできません。人生の最後は、自分で決めていくことは私自身も良かったです。
- ・再度、自分の考えを再確認する機会になった。
- ・看取る側として参加したが、現在、看取りに対しての不安やわからないことはたくさんあるが、それは、自分が看取られるときはどうしたいかを考えていなかったからだ気づいたから。
- ・子供を育てることに時間を取られているが、自分にもその時が起こる可能性があるかと改めて考えた。
- ・独居老人のため、考える機会にしたい。

〔家族等に対して〕

- ・親（両親）のことに、話し合おう（人生会議をしていきたい）と思った。（5）
- ・親のことを考える機会となった。（5）
- ・家族（両親、夫、妻、子ども）と話してみたい。（5）
- ・話ができるうちに、話したい。（2）
- ・子供が困る（考えさせたくない）と思った。（2）
- ・自分は一人で生きているのではないと実感したから。
- ・自分の想いを文章に記入しないと、家族は困ってしまいますことをしみじみ感じた。
- ・今まであまり考えたことが無かったが、話し合って意志を確認しておくべきことを理解した。
- ・家族に、言葉にして伝えないと分からないことがたくさんあると思いました。
- ・父の「看取り」のころとは、ずいぶん変わったと思います。本人の意志、子供たちの意志が届きますように。
- ・自分の中では、最後の迎え方を決めています、家族と想いを共有する時期をいつにしようか考える機会となりました。
- ・何回か聞いているうちに自分なりの最期の迎え方が分かるようになった。家族と少しづつ話していきたい。
- ・自分ごとというより、自分にとって大切な人の最期の迎え方について考えました。
- ・自分は若いからと思っていたけれど、いつそうなるかもわからない。また、自分が考えたら家族も考えてくれるのではと思ったから。
- ・私や主人の最期をどうしたらよいか参考になりました。
- ・すでに時々会話中に行っています。
- ・自宅での看取りや、ご本人、ご家族の思いが聞けた。
- ・祖母が亡くなったときに「死」について考えるようになったため。
- ・義母が亡くなった時のことを思い出しました。

〔その他〕

- ・常々考えていた（テーマ）だったから。（2）
- ・大変役に立ちました。
- ・考えさせられた。
- ・とても良い会でした。ぜひ、多くの人が触れる機会へと思います。
- ・一寸先のことだけど参考にできたらと思いました。
- ・実際に立ち会った経験があるから。
- ・自分のこともけれど、仕事上関わる患者さんについても考えることが必要だと思いました。
- ・感謝です。

○問5で、「②機会とならなかった」を選んだ理由は何ですか？

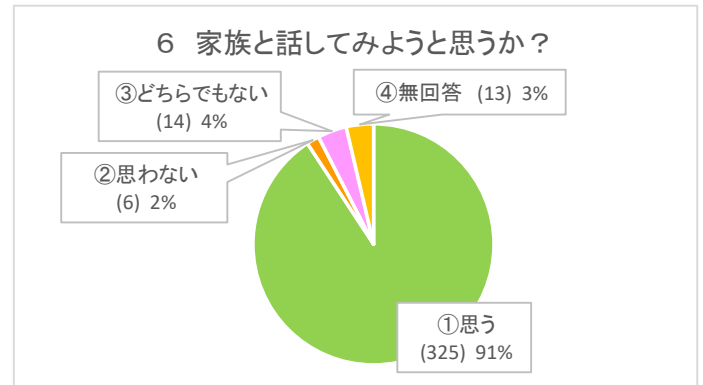
- ・まだ、自分の死に対するイメージがつきにくい。
- ・元々考えています。

○問5で、「③どちらでもない」を選んだ理由は何ですか？

- ・既に考えていたので。(2)
- ・まだ想像できなから。
- ・両親の最期しかイメージできませんでした。

【問6】これを機に、ご自身の治療の希望や最期の迎え方に対する想いを家族と話してみようと思いますか？

①思う	325	90.8%
②思わない	6	1.7%
③どちらでもない	14	3.9%
④無回答	13	3.6%
計	358	100.0%



○問6で、「①思う」を選んだ理由は何ですか？

- ・必要だから。(3)
- ・とても大事なことと思ったから。

〔自分のこととして〕

- ・希望する（納得した形で）最期を迎えたい。(2)
- ・人生に悔いを残したくない。(2)
- ・伝えておかないと希望がかなわない（自分の生き方ができない）から。(2)
- ・自分で決めたい。
- ・自分の意志をはっきりとしておきたいと思ったから。
- ・自分の思いを伝えたことがないので。
- ・自分の思いを伝えることが大事だと思うから。
- ・自分の家で過ごしたいと話をしてみる。
- ・少しずついいので、自分の思いを整理しながら話していけたらいいな。
- ・自分と思いが違うのではないかなと思う。
- ・少しずつ機会を見つけて記しておきたい。
- ・少しは話していますが、記録として残しておきたいと思いました。

〔家族に対して・家族等との関わりを通して〕

- ・（家族の）話を聞いてみたい（確認しておきたい）と思った。(8)
- ・残された家族が困らないようにするため、思いを伝えたい。(6)
- ・家族（子どもたち）が、迷ったり悩まない（不安にならない）ように。(6)
- ・本人も残された家族も、互いに悔いがないようにしたい。(3)
- ・これまで（家族と）話したことがなかったから。(3)
- ・家族と話し合うことが大切だと思いました。(2)
- ・常日頃から、日常会話の中で家族に想いを伝えていくことが重要だと思います。
- ・みんなが納得した決断ができたと思う。(2)
- ・一応尊厳死協会に入っているが、もっと話しておきたい。
- ・暗い話にしたくないけど、お互い悔いは残したくないから。
- ・なんとなく話し合うことができなかった。
- ・自分の思いと家族の思いが違うから。
- ・自分の想いと家族の想いに違いがないようにしたいと思ったから。
- ・より良く生きるために、そして、残される家族のためにもなるということが分かったから。
- ・いつか聞かないといけないので、良いタイミングとなった。
- ・縁起でもないではなく、元気なうちに話をしておく必要があると思った。
- ・自分のことは以前話したが、夫や子供たちの想いを聞いていないので、聞こうと思います。

- ・実家に帰ったらメッセージノートを記入してもらおう。
- ・親とノートを共有したい。
- ・夫の入院により、娘二人と話し合う時間が増えました。
- ・父が75歳になり、家族でも話し合いが必要だと話題に上がる。
- ・祖母が看取りについて考えるようになったため。
- ・家族が最期を迎える時まで、父や母らしくいて欲しいと思うため。
- ・祖母が亡くなったときに「死」について考えるようになったため。
- ・既に話し合いました。(2)
- ・いつも子供に話しているが、あまり気にしないみたい。

〔その他〕

- ・持病をもっているから。(2)
- ・日頃からなんとなくイメージはしています。
- ・機会を見ながら、後々はしてみようと思う。
- ・思うが、行動に移す自信がない。

○問6で、「②思わない」を選んだ理由は何ですか？

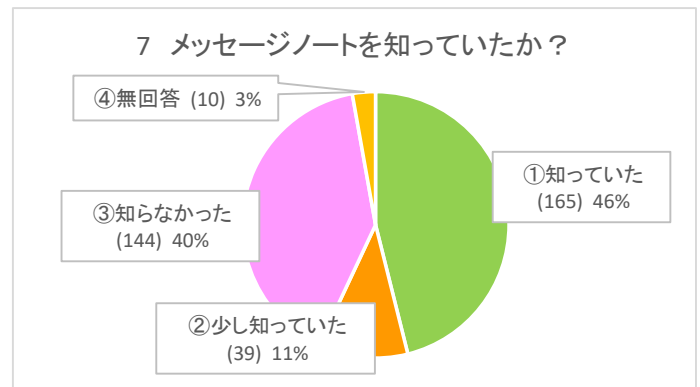
- ・この年齢というもあり、今を楽しみたいため深い話は避けたいから。
- ・まずは親のことを話そうと思う。
- ・相手にその気がないので。
- ・自分はまだ10代なので分からない。

○問6で、「③どちらでもない」を選んだ理由は何ですか？

- ・話したことがある。
- ・少しずつは話している。
- ・まだ分からない。
- ・自分の年齢ではもう少し先に話をしたいと思っている。

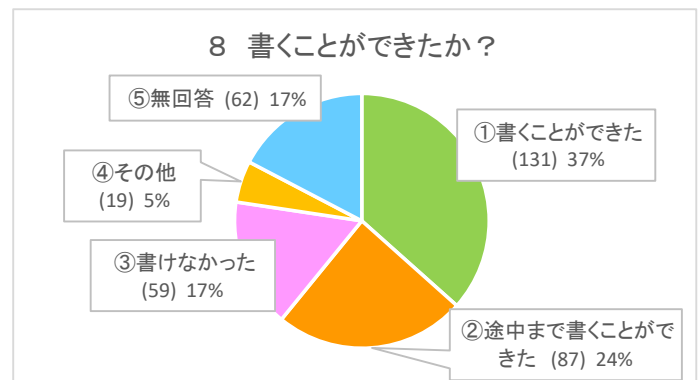
【問7】熊本市が作成しているメッセージノートを知っていましたか？

①知っていた	165	46.1%
②少し知っていた	39	10.9%
③知らなかった	144	40.2%
④無回答	10	2.8%
計	358	100.0%



【問8】『「人生の最終段階」に受けたい医療（私の想い）』を書いてみていかがでしたか？

①書くことができた	131	36.6%
②途中まで書くことができた	87	24.3%
③書けなかった	59	16.5%
④その他	19	5.3%
⑤無回答	62	17.3%
計	358	100.0%



○問8で、「①書くことができた」を選んだ理由は何ですか？

- ・思いは決まっていたから。(3)
- ・自分の思いをノートに書いているから。
- ・自分の意志を書くことができた。
- ・今の気持ちを記すことが大切だと思った。
- ・先生の説明があったので、書きやすかった。
- ・読みやすく分かりやすかったので、記入しやすかった。
- ・少ない項目で書きやすかった。もっと詳しく細かく書かなければいけないとイメージしていたから。
- ・ん～。感慨深いものを感じた。
- ・「死」って、どういうものだろうと想像するけど、体験できないから想像できず難しかった。
- ・書くことはできたが、想像がまだつかない。
- ・メッセージノートに入れておきます。

○問8で、「②途中まで書くことができた」または「③書けなかった」を選んだ理由は何ですか？

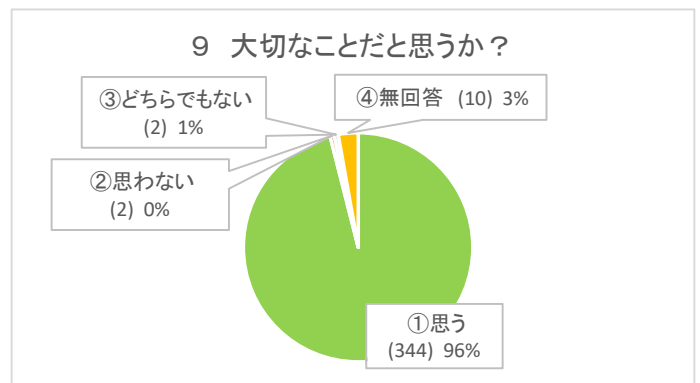
- ・これから(考える)書いてみようと思う。(4)
- ・ゆっくり考えて(時間をかけて)書きたい。(4)
- ・まだ心の整理ができていない(考えをまとめている)から。(3)
- ・まだ完全にイメージしきれない。
- ・想像したことがなく、書き終えることができなかった。
- ・これまでは、日頃の多忙さに、今その時期？と思うこともあったため書けなかったが、書いている途中で泣けてきて書けなくなりました。
- ・まだ先のことはよく分からないと思い、かけない部分もあったため。
- ・まだ差し迫った状態にないので、実感がわからない。
- ・今の私の年齢と主人の年齢では思いが異なると思います。
- ・現時点で決めることができなかった。気持ちは変わらと思うので、変えるタイミングを考えました。
- ・かかりつけ医(看取りをしてくれる)が分からない。

○問8の「④その他」

- ・これから書きたいと思う。(2)
- ・自宅で書きます。
- ・両親と話し合いながら書こうと思う。
- ・高齢になってきた両親に書いてもらうために持って帰ろうと思う。
- ・他の様式ですでに書いています。

【問9】ご自身の意志を書き残すことについて、大切なことだと思いますか？

①思う	344	96.1%
②思わない	2	0.6%
③どちらでもない	2	0.6%
④無回答	10	2.8%
計	358	100.0%



○問9で、「①思う」を選んだ理由は何ですか？

- ・本人の意志の尊重は重要。
- ・人生の終わりのことで大事。

〔自分のこととして〕

- ・言葉だけでは思いは確実に伝わらない。(3)
- ・自分の気持ちを伝えたい(知って欲しい)。(3)
- ・自分らしい人生に必要。(2)
- ・言葉にして伝えないと伝わらない。(2)
- ・最期まできちんと自己主張をしたいと思うから。
- ・自分の人生なので自分らしく最期を迎えたい。生まれる時も一人、逝くときも一人である。
- ・家族、医療者、支えてくれる人みんなに知ってもらうことで、私らしく生きていけると思った。
- ・心に思うところが少しでも家族に伝わればよいと思う。
- ・自分の思いをまわりにも知って、そのように動いてもらいたいの。
- ・大事な人には伝えておきたいことがあるから。
- ・自分のことを大切な人に伝えられる。
- ・自分の気持ちを相手に伝えないということは、きっと相手を悩ませると思うし、(その時の)自分の気持ちを振り返る機会につながるから。
- ・変わるかもしれないが、今日の時点での考えは残しておかないと、いつ、どうなるか分からないから。
- ・急変すると自分の意志に反して挿管から気絶をする人を何人も見てきたので、大切だと思う。
- ・いつ自分が病氣や事故に遇うか分からないため。
- ・独り身なので、書面に残すのは大切だと思う。(2)

〔家族等との関わりを通して〕

- ・残された家族が困らない(迷わない・安心する)ようにするため。(5)⇒(11)
- ・子どもたちに思いを伝えたい(話してみたい)と思う。(4)
- ・最期に近づいたとき、本人に確認できない(うまく話せない)ため。(3)
- ・子ども(家族)が、冷たい人間(家族)と思われなかったためにも「見える化」が必要。(3)
- ・残される家族の指針になる。(2)
- ・子どもたちに知ってもらう(残しておく)ことが大事だと思う。(2)
- ・一人ひとり思っていることが違うため。(2)
- ・書面にしておくことが大事と、話を聞いて思った。
- ・伝える時に伝える必要性を感じたから。
- ・意志だけは伝えておいた方がよい。
- ・家族に知ってもらうことが出来る。
- ・子どもが3人おり、共通認識のためには必要。
- ・書かないと心の中は分からないと思います。
- ・具嶋先生の「自分の意志を決めていても伝わらない」ことがあるというお話から、林先生の「本人が治療を希望しなくても家族からは言いつらい(薄情と思われたくない)」というお話から。
- ・夫の死の目前に、どうして欲しいか、どうしたらよいのか希望を聞いていなくて困った。
- ・祖母の時、本人の意思を知らなかったから。
- ・義母の最期の時に、困ったことがあったから。
- ・必ず、家族がいる以上関わることになるから。

〔その他〕

- ・なかなか思うように書き残すことができません。
- ・考えは常に変わるかもしれないが。
- ・自然死は、苦しくないと分かりました。

○問9で、「②思わない」を選んだ理由は何ですか？

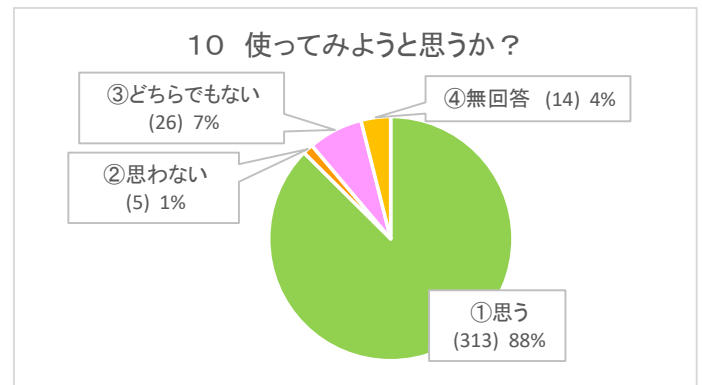
<回答なし>

○問9で、「③どちらでもない」を選んだ理由は何ですか？

<回答なし>

【問 10】 今後メッセージノートを使ってみようと思いますか？

①思う	313	87.4%
②思わない	5	1.4%
③どちらでもない	26	7.3%
④無回答	14	3.9%
計	358	100.0%



○問 10で、「①思う」を選んだ理由は何ですか？

〔自分のこととして〕

- ・自分の想いを伝えたい（残したい）から。（3）
- ・自分らしい（納得した）人生に必要。（2）
- ・納得した最期にしたい。（3）
- ・自然に死を迎えたいから。
- ・自分を見つめるいい機会。
- ・心に思うところが少しでも家族に伝わればよいと思う。
- ・残された家族が困らないように、自分の望む生き方ができるように。
- ・きちんと話し合い、自分の思いを整理したい。
- ・大事なことをメッセージノートに書き残したいと思う。

〔家族等との関わりを通して〕

- ・家族（子供たち）が迷わない（困らない）ように。（4）
- ・文書で自分の思いを残しておくことが大事と思う。（2）
- ・親に記入してもらいたい。（2）
- ・家族に心配をかけたくないから。
- ・自分や家族が望まない最期を迎えたくない。
- ・残る家族の指針（判断）になるから。
- ・もしもの時に残された方に伝えたいことがあるなと思います。
- ・祖母と同居しているので、渡そうと思ったから。
- ・市外に住んでいる両親へ見せようと思った。
- ・まず自分が書いてみて、夫の気持ちも聞いてみたいです。
- ・自分の意志（延命×）と夫の意志（延命○）が一致しないと思うから。
- ・周りも納得するかもしれない。

〔その他〕

- ・使います。（2）
- ・立場や年齢によってかわると思うので、今後も使ってみたい。
- ・分かりやすいため。
- ・伝わりやすいと思った。
- ・思っているがなかなか書けない。あとから書こうとなる。
- ・父も母も亡くなってしまったから。
- ・一人身なので特に思う。
- ・本屋でいつも手に取って試している。かわいいノートでも使用してみたい。
- ・もっと可愛いノートに残しておきたい。

○問 10で、「②思わない」を選んだ理由は何ですか？

- ・まだ先のことすぎて実感がわからないから。（10代）
- ・自分流をつくっていききたい。
- ・毎日、日記を記載中のため。
- ・遺言を作成する予定なので。

○問 1 0で、「③どちらでもない」を選んだ理由は何ですか？

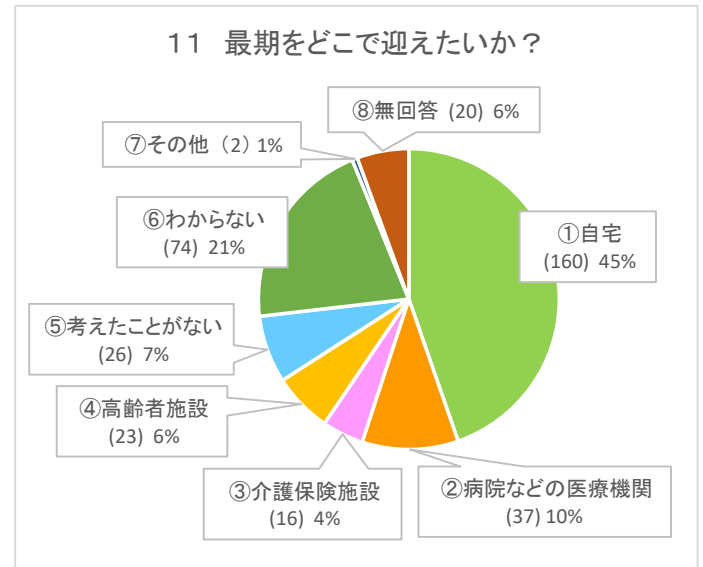
- ・まずは、両親へ渡したいと思います。
- ・書き残すことは中々できない。
- ・子どもの受け取り方で考える。
- ・他のノートもみてみたい。
- ・エンディングノートで良いかも。

【問 1 1】人生の最期をどこで迎えたいと思いますか？

①自宅	160	44.7%
②病院などの医療機関	37	10.3%
③介護保険施設	16	4.5%
④高齢者施設	23	6.4%
⑤考えたことがない	26	7.3%
⑥わからない	74	20.7%
⑦その他	2	0.6%
⑧無回答	20	5.6%
計	358	100.0%

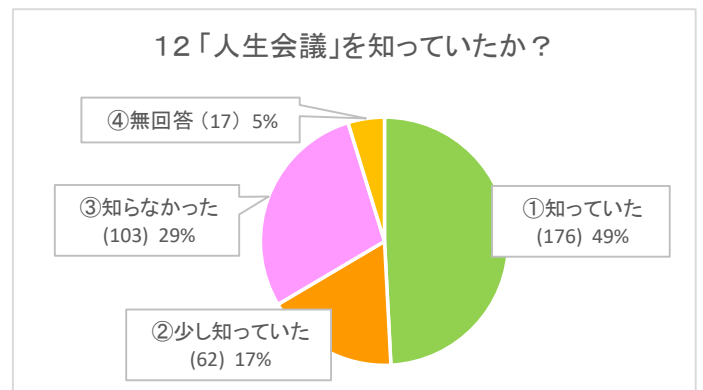
○問 1 1の「⑦その他」

- ・緩和ケア (2)



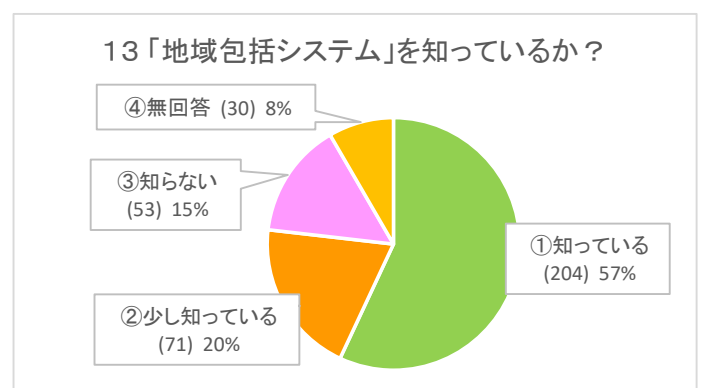
【問 1 2】「人生会議」について知っていましたか？

①知っていた	176	49.2%
②少し知っていた	62	17.3%
③知らなかった	103	28.8%
④無回答	17	4.7%
計	358	100.0%



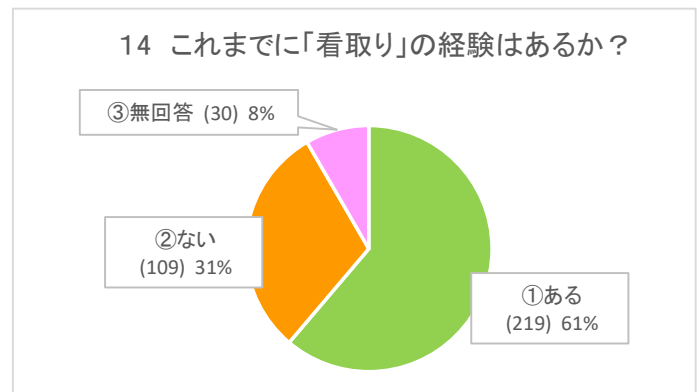
【問 1 3】「地域包括ケアシステム」について知っていますか？

①知っている	204	57.0%
②少し知っている	71	19.8%
③知らない	53	14.8%
④無回答	30	8.4%
計	358	100.0%



【問 1 4】これまでに「看取り」の経験はありますか？

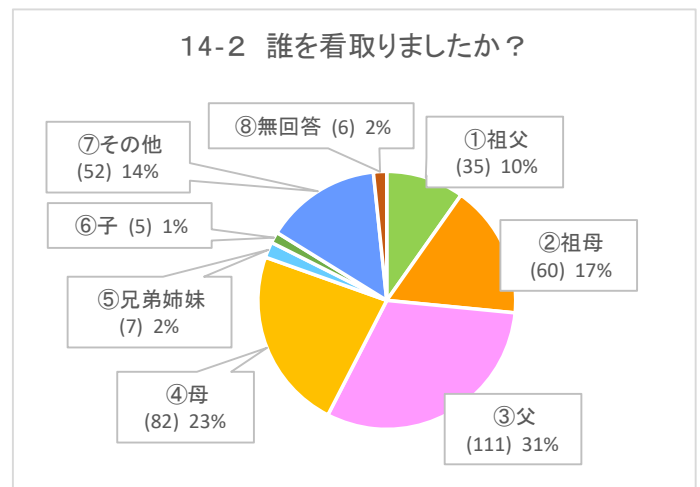
①ある	219	61.2%
②ない	109	30.4%
③無回答	30	8.4%
計	358	100.0%



※問 1 4 で「①ある」と回答した方

【問 1 4-2】誰を看取りましたか？（※複数回答あり）

①祖父	35	9.8%
②祖母	60	16.8%
③父	111	31.0%
④母	82	22.9%
⑤兄弟姉妹	7	2.0%
⑥子	5	1.4%
⑦その他	52	14.5%
⑧無回答	6	1.7%
計	358	100.0%



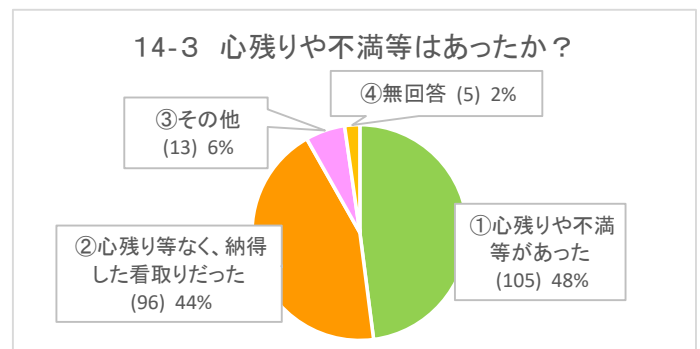
○問 1 4-2 の「⑦その他」

・義親	(1)	・祖母の弟	(1)
・配偶者	(7)	・仕事上	(9)
・夫	(9)	・職場	(3)
・妻	(3)	・施設利用者	(5)
・伯（叔）父	(3)	・いところ	(1)
・伯（叔）母	(9)	・記載なし	(1)

※問 1 4 で「①ある」と回答した方

【問 1 4-3】その看取りに、心残りや不満等ありましたか？

①心残りや不満等があった	105	47.9%
②心残り等なく、納得した看取りだった	96	43.8%
③その他	13	5.9%
④無回答	5	2.3%
計	219	100.0%



○問 1 4-3 の「①心残りや不満等」は何ですか？

〔本人の想いに対して〕

- ・ 本人の気持ちを聞いていなかった。（4）
- ・ （認知症になり）意思が確認できなかった。（3）
- ・ 本来、父が望む医療行為だったのか不明のため、家族として少しでも生きて欲しいと望んでしまったこと。
- ・ 本人の意思を聞いていなかったのも、病院（医師）から進められる医療を継続してしまった。
- ・ もっと生前に話し合えたら良かったと思う。
- ・ 人生会議が全くなかった。
- ・ ご本人やご家族が望む最期になっていたか、事前の「人生会議」を知らなかったし話し合いをしていなかったから。
- ・ 家族（兄弟）で、思いが違った。（3）
- ・ 別居の親族の意向がからみ、思った通りの対応ができなかった。また、祖母が本当はどうしたかったのかを聞くことができなかった。
- ・ 自宅へ帰すべきだったかも。
- ・ 祖母は、自宅で最期を迎えたかっただろうから。
- ・ 家に帰りたと言っていたが、病院で亡くなった。何度も電話がかかってきて、「仕事だから」と言って切った後はかかってこなくなった。さみしい思いをさせてしまったと今でも思う。
- ・ 父の時は、ギリギリまで自宅で過ごしたが、かなり我慢させたと思う。緩和病棟の入院を望んでいたのも、時期を考えておくべきだった。麻薬導入してから会話ができなかった。

〔看取りについて〕

- ・ 最期の時にそばにいなかった。
- ・ 最期の会話ができなかった。
- ・ 看取りができなかった。
- ・ コロナの時で、あまり会えなかった。
- ・ コロナ禍やその他感染症により面会が厳しく、しっかりと話す時間が短かった。
- ・ 一緒にいる時間がなかった。
- ・ 高齢だったが90歳になるまで元気だったので、急に病気になって数か月で亡くなったため、ゆっくり話をすることが出来なかった。
- ・ 病院に入院してもらい、側にいてあげられなかった。
- ・ 自分が看取りをする中で、もっと父に寄り添ってあげればよかったと思う。
- ・ 入院先への訪問回数が少なかった。
- ・ 子育てに忙しくあまり関わる事が出来なかった。
- ・ もう少し面会に行った方が良かったと思う。仕事と子供が先で母は後回しだった。
- ・ 看護師になって1年目、父の話も聞けなかった。日に日に弱る父を忙しさを理由にあまり会いに行けなかった。20年近いですが今でも思います。
- ・ もっと優しい声かけをしてれば良かった。
- ・ いろいろな心理状態など、気が付かなかったことなどあり。
- ・ 食べたいものが食べれない（減塩など）様子を見たとき。
- ・ 一晩中苦しそうで、弱っていく姿を見るのはつらかった。
- ・ 胃瘻をしてしまったこと。（4）
- ・ 母の死に関して、延命のために胃ろうをお願いしたことが、本人にとっては苦痛を長く体験させたと感じ、心残りとして今も苦い思いがある。
- ・ 自宅での経管栄養、父が望んだのか？
- ・ 高齢だったため、心までの対応が必要だったのか。自宅での急変だったので（本人が過ごしたいと思っていた場所）
- ・ 最後の最後、祖母の体を病院に移したこと。もっと、相談できる相手を見つけておくべきだった。
- ・ ああすれば良かったんじゃないか。色々な選択肢の中から選んだが、それが良かったのか不安。
- ・ もっと本人の思っているように行ってやればと思う。
- ・ 他に何か（もう少し）できることがあったのではないかという思いがある。（2）
- ・ 本当に本人が満足のいくケアが行えたのかと思うことがある。
- ・ 何もできない無力感。
- ・ 義母の最後に立ち会えなかったことを、義父が心残りにしていた姿を見たから。

- ・仕事が忙しく葬儀に出られなかった。
- ・父は自宅で突然亡くなったため。
- ・色々な面で自信がない（最近そう思う）。どうして欲しかったのかある程度は理解できたし、そうしてあげたが。
- ・主治医に側にいて欲しかった。間に合わず私独りで看取りました。少し不安があったが、結果的にはよかった。

〔医療機関・施設等に関して〕

- ・医師からの説明が難しかった。
- ・病院に希望が届かなかった。
- ・肺炎で入院していたが（まだ熱もあったので）、病院職員さんの結婚式があり、私は退院に反対だったが大丈夫ということで退院になり、1～2日したら緊急入院となり死亡。
- ・必要ないと思う医療行為を導入してしまったため。
- ・食事が食べられなくなり、父は何もしてほしくないと望んでいたが、助からないもう看取りと決めていたのに点滴をすすめられ、嫌がる父が実施することになった。
- ・ホスピスで最期を迎えたが、いつ亡くなるのか聞けず、最後の会話ができなかったことが心残りです。
- ・ずっと水を飲みたがっていたので、一口でも飲ませてやりたかった（医師からは難しいと言われたので仕方なかったとは思いますが・・・）。病院の対応に不安があり、ここでは任せられないと、他の病院（自身が信頼しているところ）への転院を希望したが聞き入れてもらえなかった。個人の素人の意見ではあるが、この選択でなければ結果は違っていたかもの思いは今もある。
- ・救急搬送で入院して、病院に行ったときは、あらゆるところに管が挿管されていた。全身浮腫になって苦しんで逝った。何か他の方法はなかったのか。
- ・仕事をしていたので十分な看取りはできなかったが、できる限り病院へ通ったが、もう少し手の届く世話をしてくれるところがあったのではないかと心残りがあります。
- ・祖父の思いで施設で看取りをした。施設で緩和医療に限界があった。下肢の壊死に対しカロナールだけだった。

〔その他〕

- ・（病院で看取りとなった）家に連れて帰りたかった。（2）
- ・もう少し自宅にいてもらいたかった。
- ・仕事で看取りに関り知識があったのに、家に帰りたいと希望があったが、連れて帰ることが出来なかった。
- ・若かったこと。私の願いが聞いてもらえなかったこと。
- ・無知のため病院のいいなりなので、自分自身の知識が必要だと思った。
- ・その時、知識など何も分からなかったので、何も考えられなかった。今だからこそ分かるので心残りや不満がある。

○問14-3の「②心残り等なく、納得した看取りだった」

- ・グループホームに入所していましたが、最後は自分で見送りたいと家族で看取りができました。何もしない最期でした。とても穏やかな顔でいってくれ、孫たちも傍についてくれ嬉しかったです。

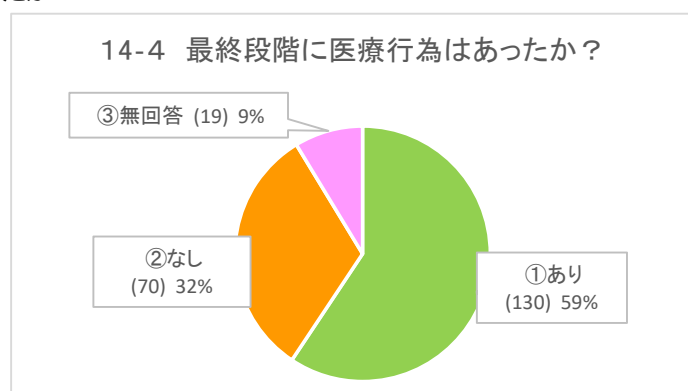
○問14-3の「③その他」

- ・事前に話し合うこと、家族への発信も含めて共有しておかなければいけないと思った。
- ・本人の思う通り自宅で看取ったが、その看取りの期間も本人が満足してくれていただろうかと思うことがある。
- ・最期の看取りが出来なかった。
- ・父は、急で看取りの時間がなかった。
- ・実父は、施設看取りで看取ることが出来なかった。（仕事では）ケアする側として、満足のいく看取りであったのか自問自答した。
- ・あまり関わらず医療機関任せでした。ある程度年齢を重ねないと分からないこともあるようです。
- ・自宅に連れて帰り看取ることが出来ましたが、心残りはありませんかということがあります。コロナで面会ができない時期でした。とにかく帰りたいと母が望み治療をせずに帰宅しました。治療をしたらもっと長く生きれたかもしれないという思いは残っています。自宅で家族みんなで見守ることが出来て満足ですが。

※問14で「①あり」と回答した方

【問14-4】最終段階（看取りの時）に医療行為はありましたか？

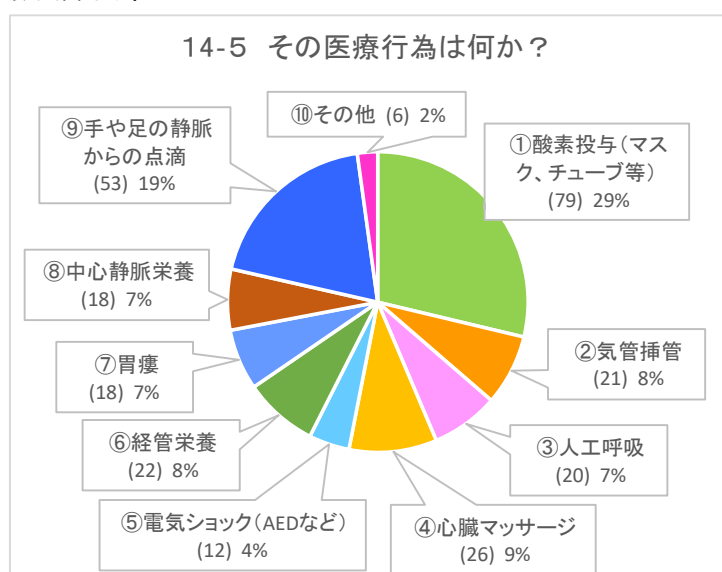
①あり	130	59.4%
②なし	70	32.0%
③無回答	19	8.7%
計	219	100.0%



※問14-4で「①あり」と回答した方

【問14-5】その医療行為は、次のどれですか？（※複数回答あり）

①酸素投与（マスク、チューブ等）	79	28.7%
②気管挿管	21	7.6%
③人工呼吸	20	7.3%
④心臓マッサージ	26	9.5%
⑤電気ショック（AEDなど）	12	4.4%
⑥経管栄養	22	8.0%
⑦胃瘻	18	6.5%
⑧中心静脈栄養	18	6.5%
⑨手や足の静脈からの点滴	53	19.3%
⑩その他	6	2.2%
計	275	100.0%



※②気管挿管 …… 口から気管に管を入れる

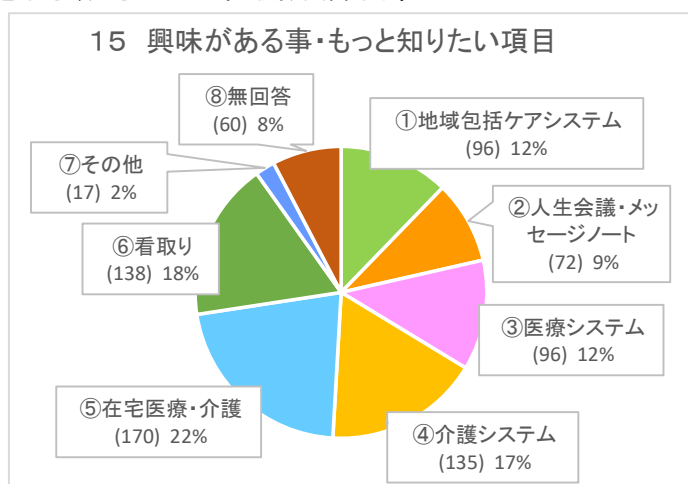
※⑥経管栄養 …… 口や鼻から胃にチューブを入れて栄養補給

※⑦胃瘻 …… おなかから胃に管を通して栄養補給

※⑧中心静脈栄養 …… 大きな血管から栄養の点滴

【問15】次の中で、興味がある事、もっと知りたい項目を選んでください。（※複数回答あり）

①地域包括ケアシステム	96	12.2%
②人生会議・メッセージノート	72	9.2%
③医療システム	96	12.2%
④介護システム	135	17.2%
⑤在宅医療・介護	170	21.7%
⑥看取り	138	17.6%
⑦その他	17	2.2%
⑧無回答	60	7.7%
計	784	100.0%



- ※③医療システム …… 医療の複雑さ、病院等の機能や役割分担、熊本市の状況等
- ※④介護システム …… 介護の複雑さ、施設等の機能や役割分担、熊本市の状況等
- ※⑤在宅医療・介護 …… 内容や役割分担、熊本市の状況等
- ※⑥看取り …… 人生最終段階の状態や、最終段階の医療・介護及び延命治療等

○問15の「⑦その他」

- ・看取りをしてくれる医療機関を知りたい。
- ・看取りのアドバイスの具体的な情報。情報が少ないと思うので、選択肢が少ないと人生会議のキッカケが遠ざかると思うから。
- ・酸素吸入だけで良い。何もなくてよいですと言っても、Drが点滴を指示しているのに何も言えなかった。
- ・施設での緩和医療について。
- ・100歳まで元気で生きるための予防（生活の仕方）
- ・今後の国の方向性、高齢化、生活、保障など知りたい。みな生活が1番の不安と思うため、将来の日本、もっと深く知りたい。
- ・身近にいる者がいろんなことについて判断すること多いが、知識も経験も未熟なので不安になることが多い。今日のような講演を聞き先生のお話で少し気が楽になりホッとすることができました。本当に感謝です。ありがとうございました。
- ・障がい者の高齢化、先立つ親、親の介護は？ 残された子は？
- ・天涯孤独な方の支援
- ・一人暮らしの高齢者は、誰と人生会議をしたらよい？ 最期をどう生きたら良いのか。急増している現状を考える必要があると思いました。今日は、貴重なお話を聞けて良かったです。一つ気になったこととして、手話通訳者が、もっと見える所（明るい所やスポットライト）でしてもらえたらと思いました。
- ・（気付き）貴重な手話が取り入れられていました。訳者に照明が当てられていたら良かったかなと思います。
- ・手話の方、全て立ちっぱなし。スライドの前で座った方が、必要な方の視線の動きも少なくなって理解しやすかったのではないのでしょうか。